

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 30 日

事務事業名		市民の日事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	060101000878
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	010101
		0601 市民協働のまちづくり				主要事業		秘書広報課	
政策体系		政策名				市長マニフェスト			
		06 みんなで築く自治のまちづくり				未来PJ事業		グループ	
		01 市民協働のまちづくり				合併建設計画事業		秘書広報G	
		01 ①広報広聴の充実				事業期間			
		財務会計上の位置付け				単年度繰返し (平成17年度~)			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	02	01	04	01	00	広報広聴事業	
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市民の方と市長の対話の場を設け、市政に対する市民意識を把握するとともに、まちづくりへ市民参加を促します。 ・市民の日は、1か月に1回。大和庁舎・真壁庁舎・岩瀬庁舎で開催。 平成28年度は9時~12時・13時~16時まで開催していたが、来庁者が午前中に集中しているため、平成29年度は9時~12時・13時~15時まで、平成30年度からは9時~12時の開催としました。 ・市長が出席できない場合は副市長などが対応します。 ・当日出された意見・苦情等については、関連各課に連絡を取り対応・改善を図れるように連携します。	・〔毎月〕市民の日の開催、議事録作成および関係課へ配付、全職員への周知 ・〔2~3月〕来年度の開催場所・方法決定

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
〔毎月〕市民の日の開催、議事録作成および関係課へ配付、〔2~3月〕来年度の開催場所・方法決定	開催回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民	人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民が抱える問題や意見要望などのニーズを把握し、市政に反映します。	意見要望件数	件	39.00	25.00	30.00	30.00	30.00
	市民の日来場者	人	35.00	26.00	30.00	30.00	30.00
	意見が、市政に反映されていると思う市民の割合	%	25.20	25.20	26.00	27.00	28.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
			0	0	0	0			
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	3	5	6		0
	事業費計(A)	千円	3	5	6	0			
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				
	述べ業務時間	時間	201.00	155.00	160.00				
	人件費計(B)	千円	588	453	468				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	591	458	474				

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
	11 需用費	5		11 需用費	6	
		合計	5		合計	6

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	市民の日事業	事務事業No.	60101000878	所属課	秘書広報課
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 旧岩瀬町で実施していたため、新市に引き継がれ開催してきました。 平成22年度は、市庁舎だけでなく、地区の集会所等で実施。また、25年度は、市政懇談会を岩瀬・真壁・大和地区で実施しました。		
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? アボなしで市長と直接話し合いが持てるため、市民の方からは良い事業であると喜ばれています。		
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">改革改善を行う</td> <td> <p>広報による周知徹底と気軽に対話できる環境づくりを検討します。</p> <p>平成28年度は15時以降の来庁者がいなかったので、開催時間を1時間短縮することで、人件費を削減できます。</p> </td> </tr> </table>	改革改善を行う	<p>広報による周知徹底と気軽に対話できる環境づくりを検討します。</p> <p>平成28年度は15時以降の来庁者がいなかったので、開催時間を1時間短縮することで、人件費を削減できます。</p>
改革改善を行う	<p>広報による周知徹底と気軽に対話できる環境づくりを検討します。</p> <p>平成28年度は15時以降の来庁者がいなかったので、開催時間を1時間短縮することで、人件費を削減できます。</p>	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市政に対する市民の方の生の声が聴くことができること。また、市長との直接対話ができることは、広報広聴の充実に結びつきます。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市長との直接対話が目的であり、市が行う事業である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 広報紙の1日号と15日号の目立つ箇所で、開催をPRしています。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の方と市長との直接対話を持てる唯一の機会です。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市民の方と市長との直接対話を持てる唯一の機会です。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 経費は、お茶代だけです。 開催時間の短縮を行い、人件費の削減ができます。平成28年度は、15時以降の来庁者がいなかったので、開催時間を1時間短縮可能です。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民の方が対象のため、公平・公正です。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⇨	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 来場者は、午前中に来ることが多く、午後に来る方は少なかった。開催時間の見直しを行うと良いと思います。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 来庁者の来庁時間の傾向及び来庁者数をふまえ、平成30年度から午前中みの開催とする。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---